BOOk DeSiGN-CLAMP



KCM3338

KC MAGAZINE

ツバサ

-RESERVoir CHRoNiCLE-

4

CLAMP

講談社

雑誌 42261-38

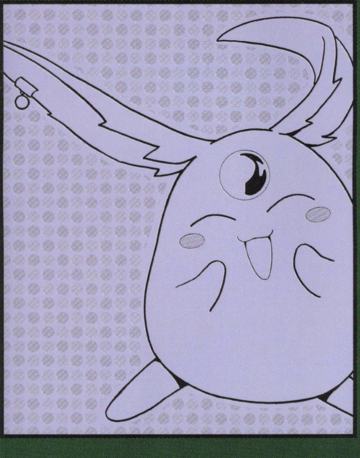
ISBN4-06-363338-1

C9979 ¥390E (0)

講談社

定価:本体390円(税別)

微かに戻り始める少女の記憶!!



さくらの羽根をめぐっての小狼と領主の激闘は意外な形で結末を迎える！ 苦難の末に手に入れた羽根によってさくらは徐々に記憶を取り戻し始めるのだが‥。大波乱の「高麗国」編――ついに完結！

そして小狼達は次なる世界・「霧の国」へ！ 広大な湖で羽根を探す中、小狼の過去が明らかになっていく！



SHONEN MAGAZINE COMICS

「ずっとずっと笑ってて欲しいって、思ったんだ」

2004 KC



SHONEN MAGAZINE COMICS
4
キミといる未来のために。
ツバサ
RESERVoir CHRoNiCLE
CLAMP


Chapitre.22 互いの結末
ツバサ
RESERVoir CHRoNiCLE

ツバサ

RESERVoir CHRoNiCLE


よくも私をこんな城に閉じこめてくれたな
ひっ
この領主は私が預かろう
…ゆっくり礼をせねばならん
ジタバタ
い…いやだ!!
信用しても大丈夫そうだよ――その秘妖さん


ボボボボッ
やめろぉお！
安心しろ
秘妖の国で 息子共々
最高の持て成しをしてやろう
ズパ ズル
いやだぁー!!
春香とやらは
おまえか
……そうだ


おまえの母親は良い秘術師だった
この領主の卑劣な罠によって亡きものとなったが
私との戦いで己を磨き
おまえが成長してそんな己以上の秘術師になることを楽しみにしていると言っていた


強くなれ
私と秘術で競えるほどな
……なる
絶対に！


では
またな
ひっ
可愛い虫けらども
ゴオオオオ
こいいいいい!


シュルン



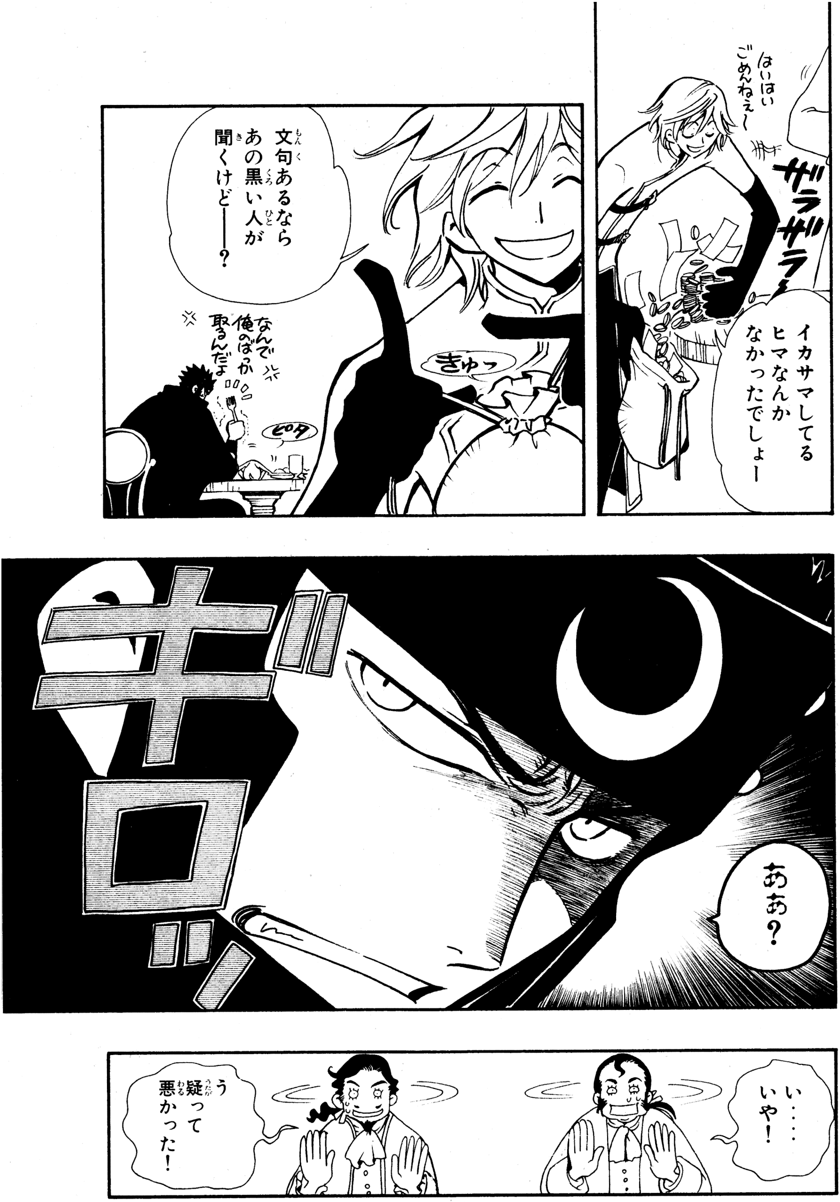

お誕生日おめでとうございます
サクラ姫
ありがとうございます雪兎さん
これくらいじゃ足りないんじゃないのか
この大食漢には
こんなにいっぱい食べきれないもん！
王子
兄様嘘ついてるんだよ！こんなに食べられないの！
ほんとだよ！
いーや 軽いだろ
さ せっかくの料理です
いただきましょう


料理長が今日の焼き菓子は自信作だと言っていましたよ
誕生日仕様だとも言ってたな
ほんと!?
カタン
お城の料理長が作ってくれるお菓子本当に美味しいの!
あのね
今日 来てくれてありがとう


お誕生日に――と一緒にいられて
本当に　本当にうれしい



はい サクラちゃん お疲れさまー
これで軍資金ばっちりだよー
この国の服も買えるし食い逃げしないでオッケー
しかし凄いな お嬢ちゃん
ルールとか分かってなかったんですけど
あれで良かったんでしょうか
あははは
面白い冗談だな！
冗談じゃないんだけど…
変わった衣装だな 旅の人だろう？
はい 探しものがあって旅を続けています
ガヤ
ガヤ
ガヤ



はいはい ごめんねぇ～
ザラザラ
イカサマしてるヒマなんかなかったでしょー
文句あるならあの黒い人が聞くけど――?
なんで俺のばっか取るんだよ
きゅっ
ピタ
ギロッ
ああ?
い……いや!
う疑って悪かった!


えっと
こう
なりました
ズラーッ
何度やっても負けないなんて！
どうなってるんだ一体!?
わっ
イカサマじゃないのか!?



この国のお金ないんですけど
大丈夫だよー
あっ!てめっ
ピタッ
ねっ サクラちゃん
え!?
ザワ
お嬢ちゃんのカードは?
ザワ


じろ じろ じろ じろ
あははー
なんか注目されてるねー
やっぱりこの格好がいけないんでしょうか
んー
全然違うもんねぇここの国の人達と
ガチャガチャ
特に黒たんがー
あーー？
文句あっか
モコナはいい子で動かないでいるもんねー
あの大丈夫なんでしょうか
この食事
んん？
しゅぱっ


Chapitre.25 御伽の国

ツバサ

RESERVoir CHRoNiCLE


ずっとずっと笑ってて欲しいって
思ったんだ
シュルン


お姫様の笑った顔
すごく・・・・
暖かかった
それを見たら
胸の所が
暖かくなって・・・・・


まだ知らなかった不思議なものをこの目で見られましたから
ガッバァ
次はどんなところかなぁ
知るか！
白まんじゅうに聞け！


なるほど――
この国の人達は湖の中にいるんだね――
強い力
このウロコから出てる力と同じ
ということは姫の羽根は‥‥
これ以外に強い力感じない
ふるるる
ないってことかー
うん
ふぁー
無駄足かよ
でも小狼君楽しそう


いつも暖かい
そういえば湖の中大丈夫だった――？
すっごい光ってたけどー
あ！
町があったんです！
はぁ？
え？え？


何も しなかったら ずっとそのまま だもの
小さなことでも 小さな一歩でも
それが きっと 未来に 繋がるから
変わらないんだな
記憶がなくても さくらは


はい
ぺこり
まだ 良く分からないことばかりで
足手まといになってしまうけど
でも 出来ることは一生懸命やります よろしくお願いします
まだまだ わたしに出来ることなんてほんの少しだけど
一生懸命やりたいの


記憶が揃ってなくて不安だと思うけど
楽しい旅になるといいよね
せっかくこうやって出会えたんだしさ


ここにいます!!
ダーーッ
きゃーっ
!
…良かった
あのね サクラちゃん
これから どんな旅になるか 分かんないけどさぁ



モコナ
小狼が笑ってるとうれしい!
勿論オレも
あ
黒ぴんもだよねー
俺にふるな
…ん
目覚めたー?
ガばっ
小狼君!
小狼君が湖に!!


…ありがとう
やったー！
小狼君が笑ってくれたーー!!


ここね この時間にいつも 鳥がたくさん 通るの！
真っ白でね とても きれいなの！ だからね！
小狼君に 見せたかったの！






君が笑ったり楽しんだりしたからって誰も小狼君を責めないよ
喜ぶ人はいてもね
小狼君 頑張って！もうちょっとだから！
来た！


だったらね もっと気楽に 行こうよ――
辛いことはね いつも考えてなくて いいんだよ
忘れようとしたって 忘れられないんだから

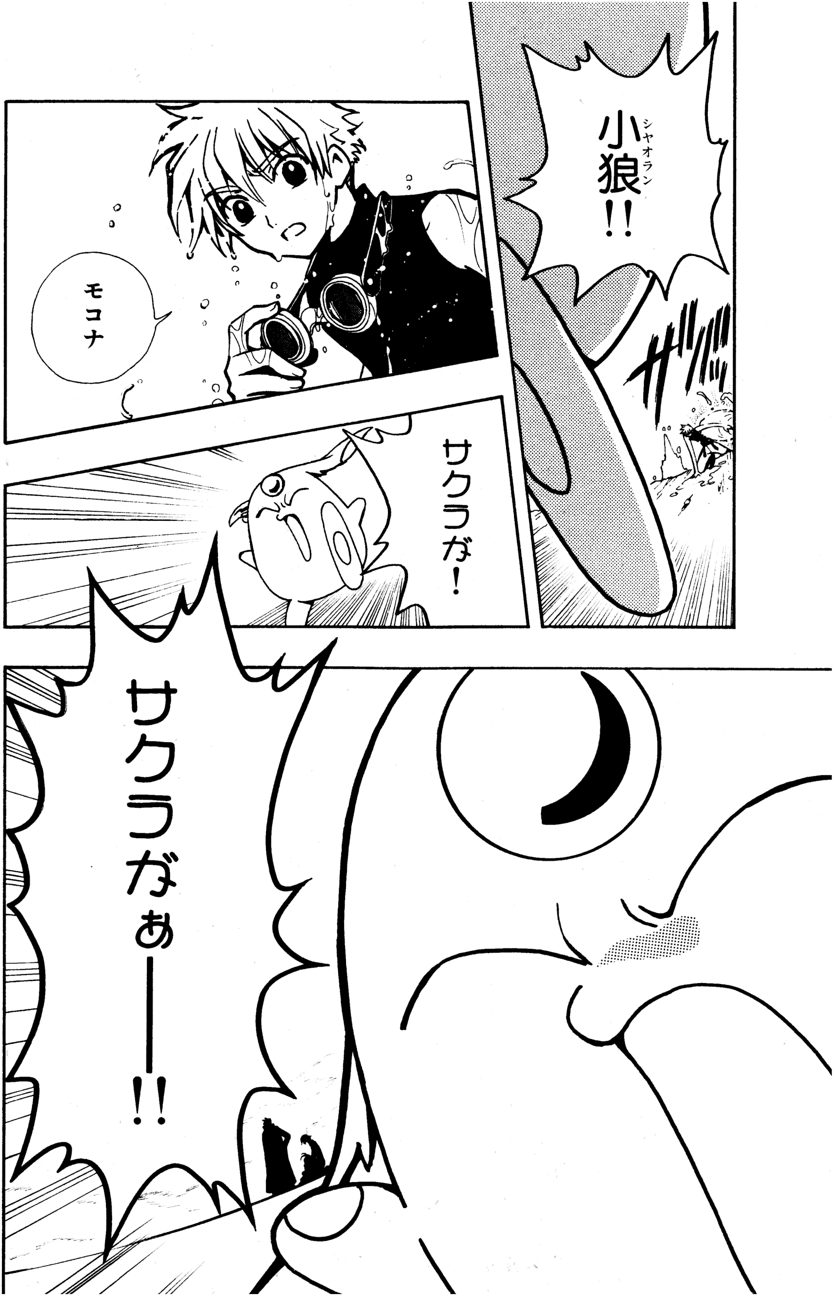

驚いた!? 驚いた!?
これもモコナ108の秘密技のひとつ超演技力!!
く〜〜
ほんとにびっくりしたみたいだねぇ
けどねぇ
きっと これからもこんなこと いっぱいあると思うよ
サクラちゃんが突然 寝ちゃうなんてしょっちゅうだろうしもっと凄いピンチがあるかもしれない
でも探すんでしょうサクラちゃんの記憶を


サクラがぁーー!!


良く寝てるのっ♥

Chapitre.24 笑顔の行方




小狼(シャオラン)!!
ザ
モコナ
サクラが!
サクラがぁ――!!


今はまだ
分からないかもしれないけど
見つかるよ必ず


それを知ることが本当に幸せなんです
そうだね
父さん
君にもきっと君だけの幸せがある


あの魚のウロコだ
目に見えることだけがすべてじゃない
世界にはね
まだ誰も目にしたことのない不思議がたくさんあるんですよ


パアァァ
アァァ
ガウ
ガウ
ガウ
そうか！
あの光る魚が湖の町の太陽なんだ！
ゴゴゴゴ


ゴゴ


ちいさ……い？
ちんまり
!?
ゴゴゴ


息が……！
ゴボ
ゴボ
もっと下だ！
町!?


お姫様の笑った顔・・・・
すごく・・・・暖かかった
ゴボ
ゴボ


これ藤隆さん……父さんのお土産にって……
ありがとう
お誕生会どうでした？
お姫様が……笑ってくれました
おれが前の記憶がないって話しても
気味悪いとかかわいそうとか言わないで
それで誕生日を作ってくれて
今日四月一日だって
それから笑ってくれて


あの子って……
……誰?
ゴボ
ゴボ
ただいま
お帰りなさい


例えば
春の日だまりのような笑顔


友達になりたいのかな？
こくこくっ
あのね サクラ姫
あの子は辛い状況にいたのに
それを「辛い」と自分で分からない状態だったんだ
藤隆さんに会って
少しずつ変わって来ているようだけど
でも まだ 心の一部は冷え切ったままだ
あの子に必要なのは
凍えた心を溶かす暖かさなんだ


紹介させて下さいね
僕の息子の
同じ歳くらいだね


お父様！
サクラ姫
ごめんなさい お客様？
こんにちは お姫様

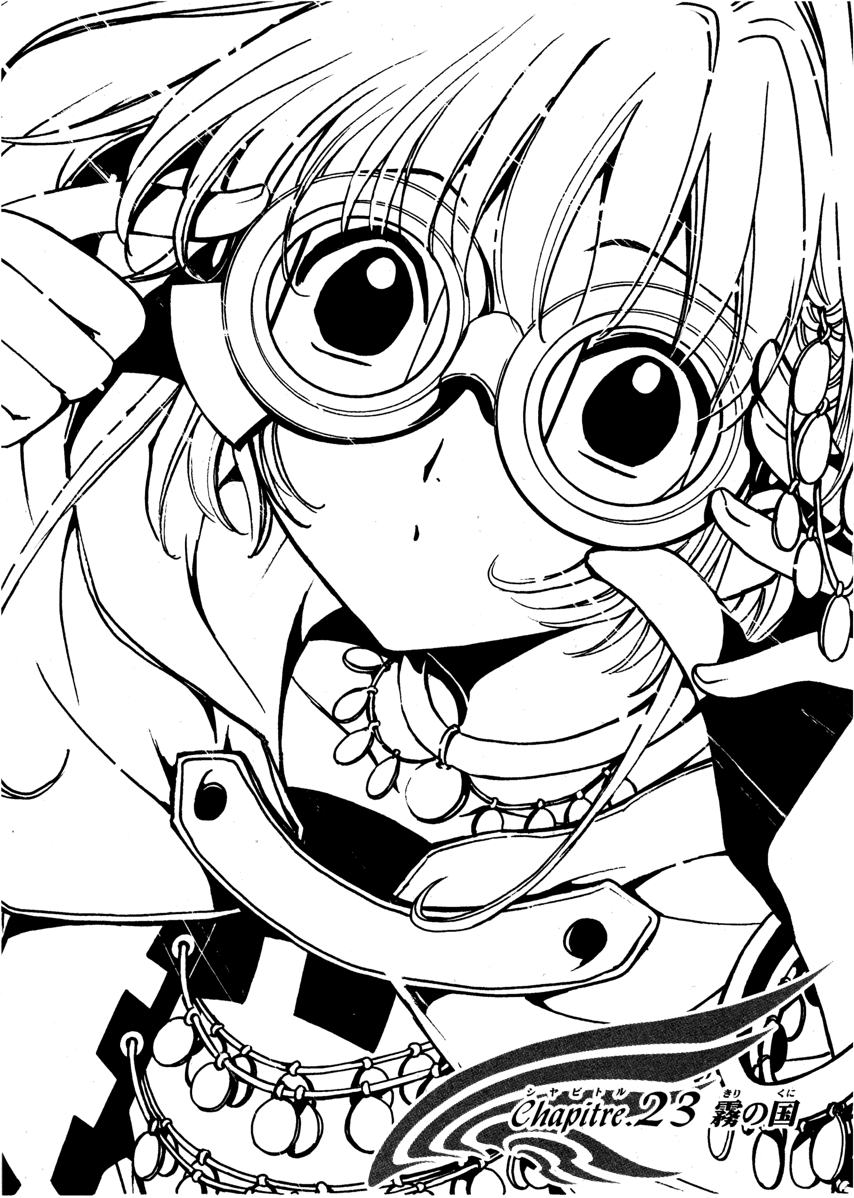

隠れていて下さい!
小狼君!
ガン
小狼君・・・・


ないしょ♥
モコナったら焦らし上手――
くすぐったーい
一生やってろ
あ 黒たん待ってー
待って――
何だ!?



誰が黒鋼だー!!
おまえはモコナだろ
黒鋼が怒ったー!
お茶目なジョークなのにーん
気色悪いことするな!!
でもモコナ声マネ上手だねぇ
黒みゅうにそっくりだったよぉ
モコナ108つの秘密技のひとつなの
うふふふ
後107つは?


ザッ ザッ ザッ ザッ
霧濃くなってきたねぇ
ザッ
うん暗いね
かなり遠くまで来たけど誰にも会わないねぇ
民家もないし
ザッ
こわいな こわいな
大丈夫だよ側にいるから
黒鋼うれしい♡


Chapitre.23 霧の国


パァァァ
湖が光ってる!?


二人で毎年誕生日をお祝いして
いっぱい素敵な思い出つくろうね
ザ ザ ザ


だったら私がお誕生日決めてもいい？
小狼君の誕生日は私と一緒の四月一日
これからずっと同じ日にお祝いできるよ
それにね
前のこと覚えてなくてもこれからは私が覚えてるよ
小狼君とどんなことして遊んだか
どんな風に過ごしたか


分からないんです
おれは 少し前に 藤隆さん‥‥今の 父さんに拾われるまでの 記憶がないんです
だから いつが誕生日とか 全然 覚えてなくて
気がついたら一人で 目が覚める前のことは 何も覚えてなくて
だから‥‥


不思議ね
誰もいないのに
わたしとても幸せそうなの
今日は来てくれてありがとう
ね
小狼君のお誕生日はいつ？


でも
ひとつだけ誰も座ってない椅子があって
お誕生日に――と一緒にいられて
本当に本当にうれしい
わたしその椅子に向かって話しかけてるの
お誕生日に小狼君と一緒にいられて
本当に本当にうれしい


春香がいた国で
羽根がわたしの中に
戻った時ね
見たの
わたしの国の
王である兄様と
神官の雪兎さん
桃矢兄様は
王子で
まだ お父様が
いらした頃
わたしの
お誕生日でね
みんな
お祝いしてくれて



ね
ギュ
……はい
パチパチ
有り難う
わたしの記憶
取り戻して
くれて
……


だったら やっぱり わたしが・・・・
おれが そうしたいんです
それに今 あなたはまだ 記憶の羽根が足りなくて 体調が万全じゃない
湖に潜ってる間に もし また 眠くなったら・・・・
だったら せめて 火にあたって
休んで


黒鋼さんとファイさんとモコナは
辺りを探索してくるってついさっき‥‥
‥‥冷たい
あれからずっと湖に潜ってたの？
休みながらですよ
わたしの記憶だから
わたしが行きます
夜になって水温が下がっています


パチ
パチ
……?
……小狼君
目が覚めましたか?


わたしが行きま‥‥
‥‥‥す
あ
ふら〜〜〜
おっと
サクラ寝てる——
春香ちゃんの所で頑張ってずっと起きてたからねぇ
限界きちゃったんだねぇ



おっきい湖だねぇ
家とかも全然見えないしね
人の気配もないみたいですね
霧も出てますし
モコナ どう? サクラちゃんの羽根の気配する——?
強い力は感じる
どこから感じる?
この中
潜って探せってのかよ
こっくり
待って


どこなんだ
ここは


で


蓮姫は町の人達で力を合わせて
どこよりも美しい良い町にするんだ！
そう高麗政府に伝えましょう
必ず


来てくれて
ぎゅ
ありがとう
非道な手段で領主となった者はいなくなりました
新しい蓮姫の領主を決めなければいけませんね
領主はいらない
みんなで決めたんだ


遅くなって本当に申し訳ありませんでした
この傷……
町に入ろうと一生懸命頑張ってくれたんだな
貴方達のご苦労や辛さに比べれば
何ほどのこともありません

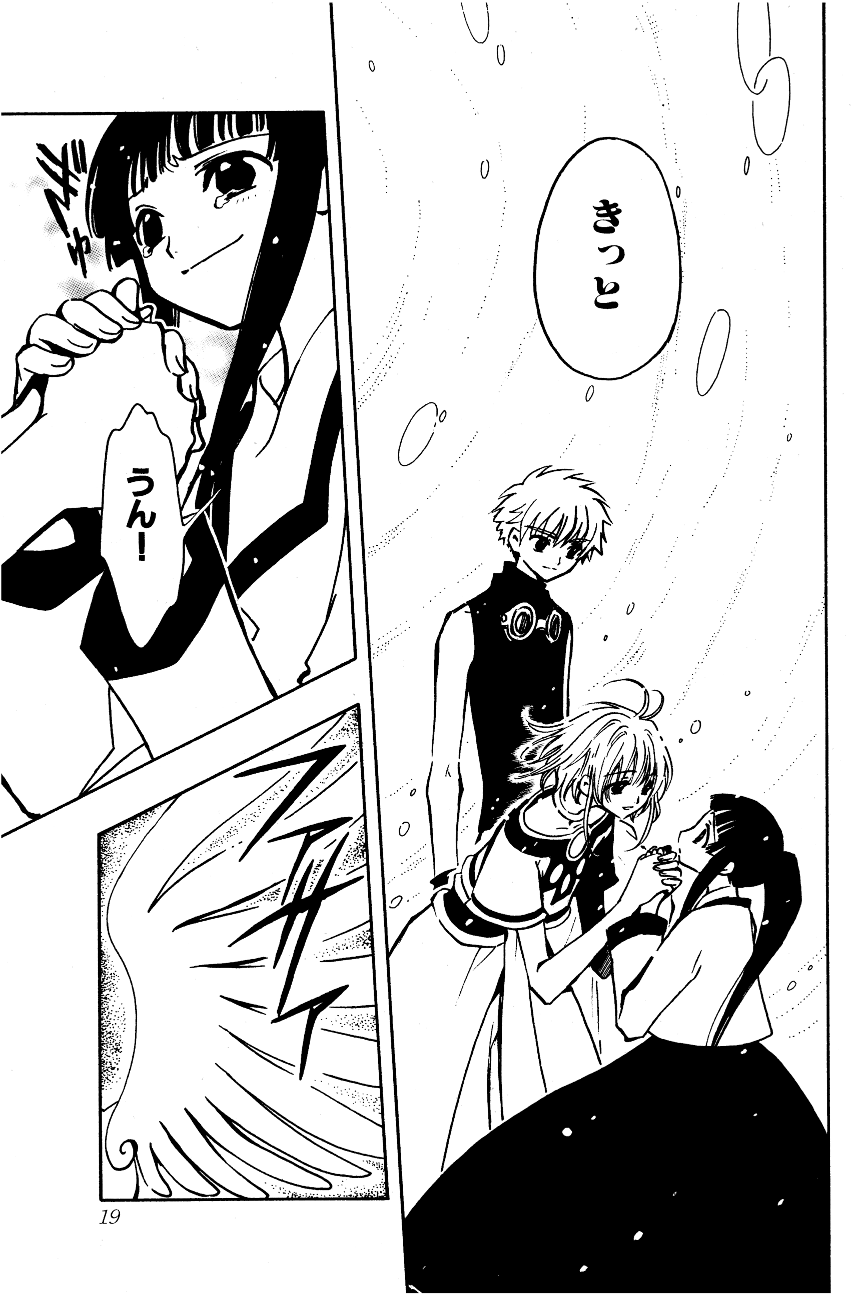

暗行御吏の紋章だ!!
こんな子供が暗行御吏なわけないな
こ……
子供だったんだ
領主は どうも突然手に入れたらしい「力」の殆どを
この町に秘術を使える者が立ち入れないようにするために費やしていたようです
町中より外から来る暗行御吏を恐れてのことでしょう
その力が消えて
やっと町に入ることが出来ました


暗行御史です
はあ?!
そんな阿呆な!
暗行御史がこんな子供なわけ・・・・!


……行っちゃった
彼らはやっぱり暗行御吏だったのかな
やっと町に入れた
誰だ？


やらなければ
ならないことが
あるんだ
シュルン
元気(げんき)で


どよどよっ
あ
そろそろ行く？
行く
なんだ!?
ファアア
うわーっ
どこ行くんだ!?
なんであれ 羽根が生えてるんだ？
ガバあっ
まだ来たばかり
なのに・・！


きっと
ぎゅ
うん!
ファサァ

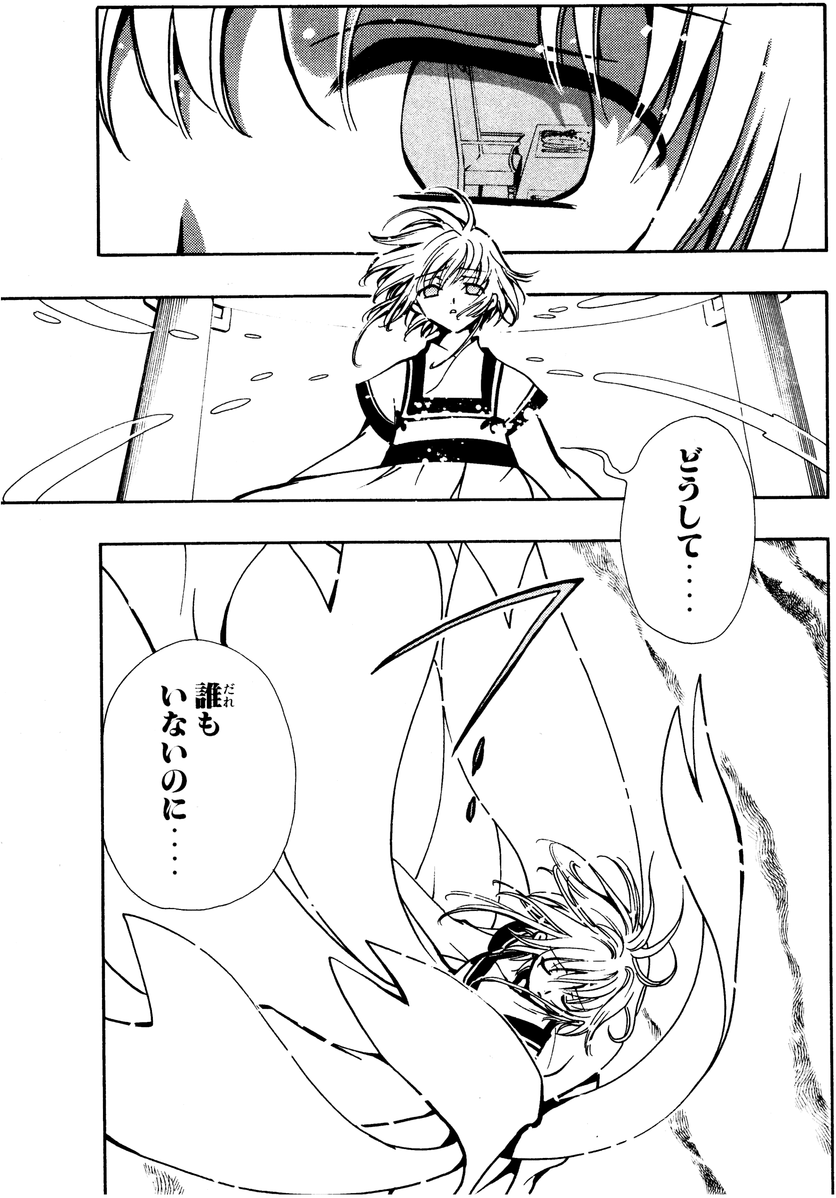

ありがとう
領主をやっつけてくれて
おれは何もしてないよ
くろがねのいじわるーっ
なに!?
あの城の秘術が解けなかったらずっと領主には近付けなかった
だから小狼達のおかげだ
いや本当におれは何も・・・・
こっちこそありがとぉ
春香ちゃんにもらった傷薬良く効いたよー
モコナもマガヂン読みたかったのにーっ
母さんがつくった薬なんだ
私にはまだ無理だけどでも頑張って
母さんに恥じない秘術師になる
なれるわ
ギュ


フッ
あなたの出番は
まだ先みたいよ
でも
目覚めるのが
あなたのために
なるかは
分からないけれど


今育まれつつある力は世界を変えることが出来る力
その力を得るために長い時間をかけて来た
必ず手に入れる


異世界へと渡る力を持つ者は
既にいる
コツ
コツ
あの玖楼国の地中深く埋まったものはそれらを遥かに凌ぐ力だ


ファサ
羽根もうひとつ
‥取り戻せた


どうして・・・・
誰もいないのに・・・・



行く先は決まってるのかい？
いえ まだ
…だったら悪いことは言わん
北へ行くのはやめたほうがいい
なんでかなぁ？
北の町には恐ろしい伝説があるんだよ
どんな伝説なんですか？



昔 北の町のはずれにある城に
金の髪のそれは美しいお姫様がいたらしい
ある日 姫の所に鳥が一羽飛んで来た
輝く羽根を一枚渡してこう言ったそうだ
「この羽根は『力』です 貴方に不思議な『力』をあげましょう」


姫は羽根を受け取った
そうしたら王様とお后様がいきなり死んで
姫がその城の主になった
そしてその羽根にひかれるように次々と城下町から子供達が消えていって
二度と帰って来なかったそうだ


それは——おとぎ話とかいうヤツかな
いいや実話だよ
実際に北の町にその城があるんですね
もう三百年以上前の話だからほとんど崩れちまってるがな
でそんなこわい話があるから
北の町には行っちゃいけないの——？
夜寝られなくなるからー？
いや


伝説と同じように また 子供達が 消えはじめたんだよ
ブルル
……『力』を くれる 輝く羽根


なんだかサクラちゃんの羽根(はね)っぽいねぇ


モコナ まだ強い力は感じない
でも羽根がないとは言い切れないよねぇ
何か特殊な状況下にあるのかもしれないし
昔の伝説って言ってたけど
春香ちゃんのとこでもそうだったしね
で 行くのか
はい


北の町へ


ジェイド国（こく）


わー
いい感じにホラーってるねぇ
この木の曲がり具合がまた
そりゃどうでもいいが冷えて来たな
雪降りそうだもんね
大丈夫ですか?
平気ですこの服暖かいから
そっか
サクラちゃんの国は砂漠の真ん中にあるんだっけ
はい でも 砂漠も夜になると冷えるから


黒るん とこはー？
黒るん言うなっ！
日本国には 四季が あるからな
冬になりゃ 寒いし 夏になりゃ 暑い
ファイの所は どうだったの？
にゅっ
寒いよーー 北の国だったから
ここよりもっと寒いかな
小狼君は？
おれは 父さんと 色んな国を 旅してたので
寒い国も暑い国も 知ってるのね


あれ！
SPIRIT
なんて書(か)いてあるのかなぁ
・・『スピリット』


って読むんだと思います
前に父さんに習った言葉と同じ読み方なら
わぁっ
読めるんだ——
すごいね
おい
ザッ
はしゃいでる場合じゃねぇみたいだぞ
ささっ


SPIRIT
ギャ
ギャ


Chapitre.26 金の髪の姫


なんか
バタン
バタン
歓迎されてないって感じがビシバシするねぇ
実際されてねぇだろ
カッ
こんにちは
聞きたいことがあるんだ
この町の……


外に出ちゃダメって言ったでしょ!
バターン
あー これはやっぱりあの酒場で聞いた話のせいかなぁ
伝説を確かめようにもこれじゃ話も出来ないねぇ
せめて金髪の姫がいたという城の場所だけでも教えてもらえるといいんですが‥‥
バタバタ


チャ


おまえ達何者だ!?

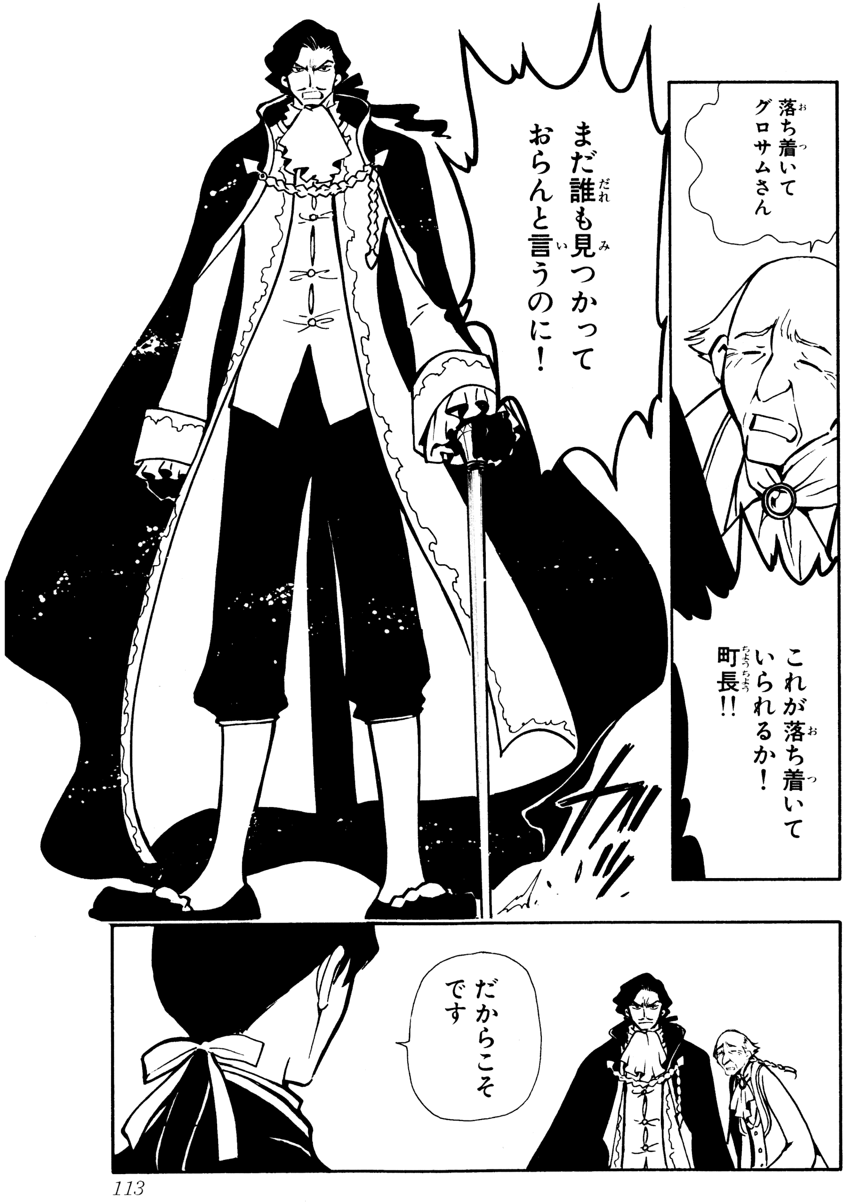

旅をしながら各地の古い伝説や建物を調べているんです
そんなもの調べてどうする!
どーーん
本を書いてるんです
本?
はい
しれっ
おまえみたいな子供が!?


いえ あの人が
そうなんですー
で その子がオレの妹でー
その子が助手でーー
で こっちが使用人
なんだと?!
誰が使用人・・・・・
がっ!!
頭突きぃ!


やめなさい！
先生・・・！
旅の人にいきなり銃を向けるなんて！
しかし今の大変な時期に余所者は・・・・・!!
余所から来た方だからこそ無礼は許されません！


失礼しました 旅の方達
ようこそ『スピリット』へ


この町の医師
カイル＝ロンダートと申します
ありがとうございます
泊めて頂いて
気にしないで下さい
ここは元は宿屋だったので部屋は余っていますから
どういうことだ先生！
こんな時に素性の知れない奴らを引き入れるなんて正気か！


落ち着いてグロサムさん
これが落ち着いていられるか！町長!!
まだ誰も見つかっておらんと言うのに！
だからこそです


この方達は各地で伝説や伝承を調べてらっしゃるとか
今回の件何か手掛りになることをご存知かもしれません
どこの馬の骨とも分からん奴らが
何を知っていると言うんだ！


この地で暮らす者では分からないことを
これ以上何かあった後では遅いんだぞ！
グ‥‥グロサムさん！
と‥‥とにかくその人達を夜外に出さんようにな先生！
すみません紹介も出来ないで
今のが
町長と
グロサムさん
グロサムさんはこの町の殆どの土地の所有者です


大変な時にお邪魔してしまったみたいですねぇ
隣町で聞きました――この『スピリット』の伝説の事とか
私も あれは良くある只の御伽話だと思うんですが
まさか 本当に子供達がいなくなってしまうとは‥‥
手を尽くして探しているんですが一人も見つからなくて
もう二十人になります
そんなに‥‥
俺達を見て警戒するワケだ


さっき
グロサムさん達に
言ったように
些細なことでも
いいんです
子供達を探す
糸口があれば
教えて下さい

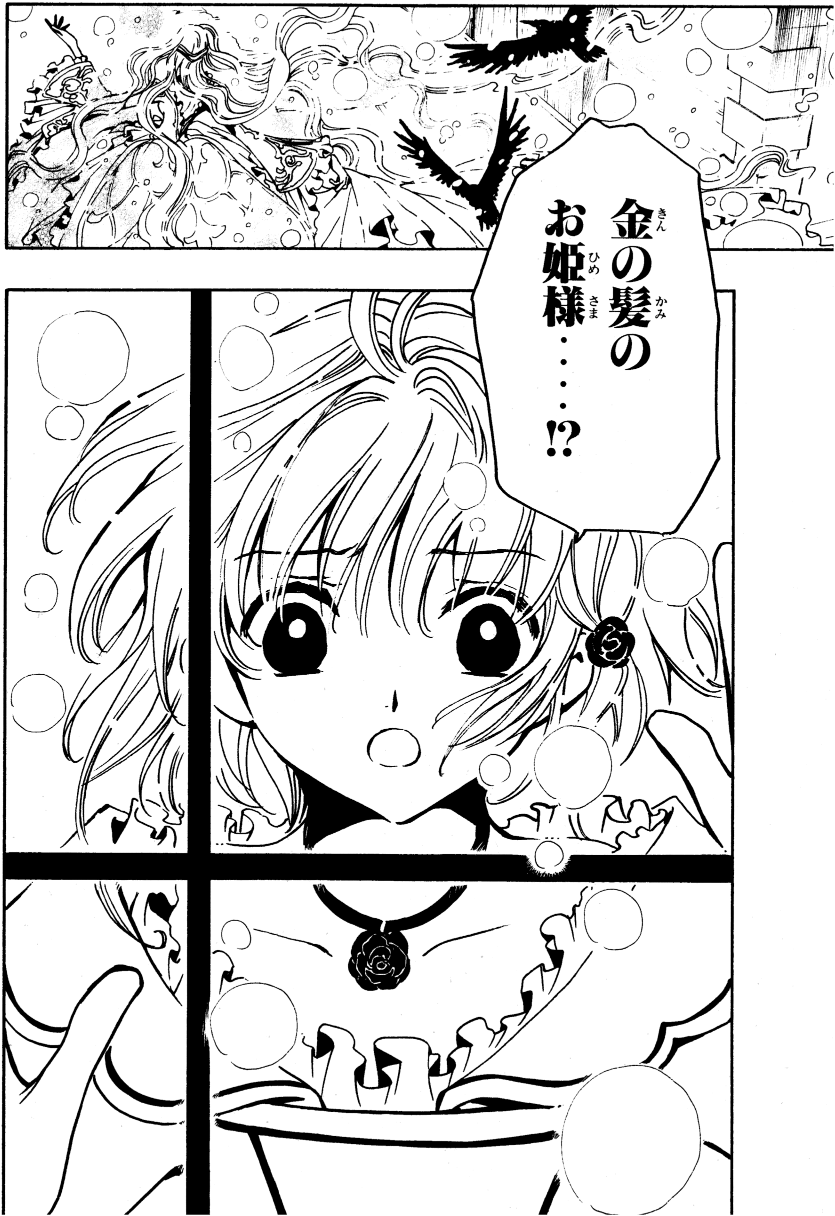

とりあえず
宿は確保
できたねぇ
よくも
頭突き
しやがったな
みょーん
いやーん
怒りんぼー❤
ナイスフォロー
だったよ——
銃持った町の人達に
囲まれた時ー
父さんと
旅してる時にも
あったので
でも なかなか
深刻な事情
だねぇ
実際
伝説の通りに
金の髪の姫君が
関係してるのかは
分からない
けどねー
とにかく
今日はもう
遅いし——



ふらあ〜〜
カチャ
わっ
寝たほうがいいみたいだねぇ
ん・・・・
あう
・・・また急に寝ちゃったんだ
むにゃ
むにゃ
もうなのー
黒鋼なびろーんってほっぺ引っぱったのー






金の髪のお姫様……!?


Chapitre.27 伝説の続き

ツバサ

RESERVoir CHRoNiCLE


ザザ
ザザ
雪積もったねぇ
にゅっ
昨夜随分冷え込んだしな
にゅっ
サクラちゃんは砂漠の国のお姫様だったから雪初めてかもねー
パタン
カチャ
サクラちゃんおはよー
ペコ
おはようございます
おう
…おはようございます


どうしました?
おっはよ～ん黒鋼ー
昨夜・・・・見たんです
ん?
雪の中を・・・・
子供が――――!!


うあ
ダッ
あああ
子供がどこにもいないんです!!
あの子か!?


ザワ
ザワ
ザワ
ちゃんと鍵も掛かってたのに!!
壊されたのか!?
中から開いてるんです!!
絶対に鍵は開けちゃいけないと教えてあるからあの子の筈ないわ!
やっぱり金の髪の姫が子供達を・・・・!
じゃあ あれは夢じゃない?


あれって何(なん)だ!?



昨夜雪の中を
金色の髪をした白いドレスの女の人が
黒い鳥を連れて歩いて行くのを見たんです
やっぱり金の髪の姫が子供をさらって行くんだわ！
ザワ
北の城の姫君だ！
姫の呪いだ！



いい加減にしないか！
ギロ
また子供がいなくなったんですか!?
タタッ
昨夜この余所者達は家から出なかっただろうな


いつ急患が来ても良いように私の部屋は入り口のすぐ隣です誰かが出て行けば分かります
ここにいても仕方ない！
さあ！子供達を探そう!!
ゾロ
ゾロ
ギロッ
わー
なんか睨まれたねぇ
怪しまれてんだろ


さあ 戻りましょう
朝食の準備が
出来てます
大丈夫――？
黒んぷのナイフと
フォークの使い方
独創的だからぁー
うるせっ！
おまえこそ
箸 使えねぇだろ
ギャ
ギャ
ギャ
ギャ


……金の髪の姫を見たんですか？
ごめんなさい わたしがあの時外に出ていれば……
夢だと思ったんでしょう
雪の中を歩いているドレスの女なんて現実じゃないと思うのは当然です
町の人達はそう思ってないみたいでしたけど——
にひゃ
ぷるぷる
『スピリット』の人達にとってあの伝説は真実ですから


史実と いうこと ですか
この国『ジェイド国』の 歴史書に残って いるんですよ
「三百年前に エメロードという 姫が実在して
突然 王と后が 死亡し
その後 次々と 城下町の 子供達が消えた」
子供達はその後 どうなったと 書かれているん ですか？


「いなくなった時と同じ姿では 誰一人 帰って来なかった」と
そりゃあ 生きて帰って こなかった とも とれるな


城は既に廃墟ですがその時とあまりに似ているので
町の人達が伝説の再現だと思ってしまうのも無理はないんですが‥‥
町で金の髪の姫を見たのは他には‥‥
いません
サクラさんとおっしゃいましたね
貴方が初めてです
その事でグロサムさんが何か言ってくるかもしれません
サクラちゃんは初めての目撃者かもしれないものね——
その『ジェイド国』の歴史書は読めるでしょうか

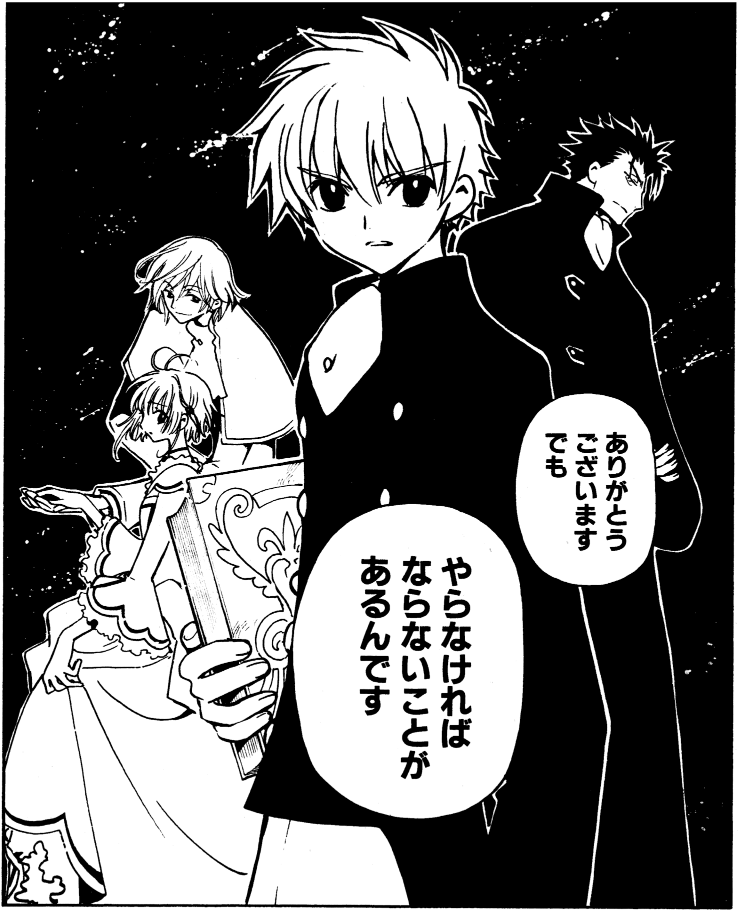

この国の歴史書が読みたいのは純粋な興味――?
それもありますが確かめたいことがあって
おっとー
ここだねぇ お医者さんに教えてもらった町長さんち
ちりんちり～ん♪
歴史書はグロサムさんとこにもあるらしいけど
まぁ あの人は貸してくれそうにないでしょ――
は・・・・はい
カチャ
申し訳ありません――
町長さんはご在宅ですか――
あ・・・・あの


君達はカイル先生の所にいた・・・・・！
こんにちはー
これで二十一人目だ
はぁ
手掛かりになるようなものは何も？
残されていなかったよ
今回もね


数年前から気候が安定してなくてずっと凶作が続いているんだ
そうでなくとも皆 気が立っているのに どんどん子供が消える
その上三百年前の伝説まで・・・・
子供が最初にいなくなったのは？
二ヵ月前だよ
早朝 木の実を拾いに行ってそのまま帰らなかった
それから一人消えたり
三人一緒だったり
大人達は何度も夜 外へ出てはいけない知らぬ者について行ってはいけないと言い聞かせている



それなのに いつも 暴れた様子も なく
ただ子供だけが その場から 消えている
三百年前の この国について 書かれた 歴史書だ
エメロード姫に ついても 伝わっている 話よりは詳しく 書き記されて いる
わしも 何度も読んだが 今回の件の 手掛かりは 見つけられ なかった
読み終わったら すぐに町を出なさい
取り返しの つかないことに なる前に


ありがとうございます
でも
やらなければならないことがあるんです


カツ
カツ


パラッ
カツ
カツ
ひゅー すごいねぇ 前も見ずに
ひょいっ
ひょいっ
この先です
人の眼ん中で動きまわるな！
黒鋼退屈そうだからくすぐってあげたの～ん♥
えへへー


あれが北の城かぁ




しかし これで どうやって 城まで 行くんだよ
ドドド
黒鋼 渡れない？
無理だろう 特に子供をつれてじゃあな
この川は三百年前にもあったようですね
パラ
昔はどうやって城に入ってたんだろ——
ここに橋があったんでしょう
ドドド
これ以外に城に行ける方法は見当たらないねぇ


じゃあ やっぱり
子供達を
城へ連れ去るのは
無理ってことか
ドドドドド
………


カッ
カッ
手掛かりっぽいものはなかったねぇ
城には近づけなかったしー
強い力も感じなかった
サクラちゃんの羽根も不明かぁ
あ・・・・
あーーグロサムさんだー
んな所で何してんだ?


あっち何もないのにねぇ
お城くらい——？

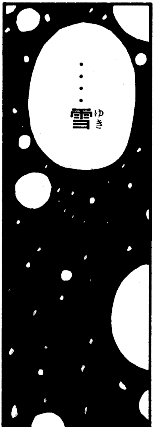

・・・まだ見付かってないのね
カッ
お大事に


往診ですか？
タタッ
ええ
今朝いなくなった子と仲が良かった子供達が随分ショックを受けているので・・・・
本は借りられましたか？
はい 町長さんに
貴方が見たという姫のことでもいいんです
何か分かったらどんな些細なことでも教えて下さい
子供達が一日でも早く戻ってくるように


何か書いてあった——？
だから服ん中這いまわるな！
コミュニケーションとっただけなのにーん♥
三百年前のエメロード姫の統治時代のことが少し
ふーん
三百年前もこの国は異常気象で
作物が育たなくて大変だったようです
伝説の『鳥』がくれた羽根については何か書いてある？
いいえ でも 突然王と后が亡くなって城下の子供達が消えたのは本当みたいですね
ばふっ
ばふっ
ってことはやっぱりお姫様がさらっちゃったってこと？


分かりません
ぱた
書物や歴史が真実のみを語っているとは限りませんから




……雪


わたしはきっと
雪を見たことが
ないだろうって
ファイさん
言ってたけど



わたしの記憶は
まだ すべて
戻ってないから
これが
初めてのことか
分からない
……冷たい
ぷる
いなくなった子供達
寒さで震えてる
かもしれない
姫を見たのは
わたしだけだし
また何か起こるかも
頑張って
起きてなきゃ


はっ



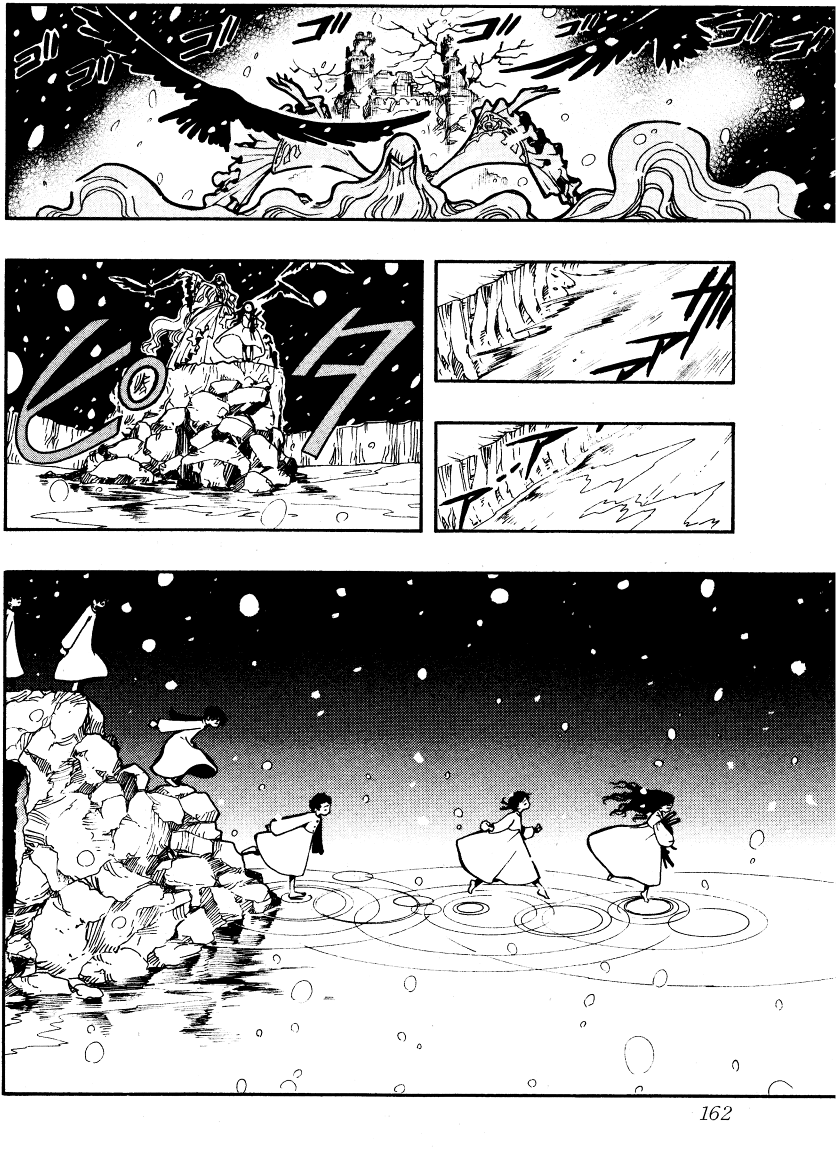
金の髪の姫!!


ユラ
子供達が連れて行かれちゃう!!
小狼君達に知らせなきゃ!!


見失っちゃう！
がさがさ
タッ
ハァ
ハァ
この方向は
タタタタタタ


お城(しろ)!


タタタタ
お城に連れて行くの？
でもお城の前の川が！
スッ
え!?


ゴゴゴゴゴゴゴゴゴ
ピタ
ザァァ
ア－ア－


水の上を歩いてる・・・!


グラ
……だめ
今……
眠っちゃ……


Chapitre.28 二人の姫


コン
コン
サクラちゃーんおはよー
シーン
寝ちゃってるのかな?
そろぉ
サクラちゃーん開けるよー


サクラいない!!
余所者達を出せ!
バタ
バタ
待って下さい!
バタ
バタ


また子供達が消えた！七人もだ！
待って下さい！
その方達は昨夜も外には出てらっしゃいません！


もう一人はどうした!?
部屋にいないんです
なんですって!?
いなくなったのに気付かなかったじゃないか!先生!
まさか‥‥サクラさんまで‥‥


いいや！
あの娘が子供達をどこかへ連れて行ったのかもしれない！
金の髪の姫を見たなんて有りもしないことを言って
伝説のせいにして子供達をさらったんだろう！
シャキ
うわっ！


クル
クル
ゴリッ
!!
武器(えもの)向(む)けんなら
死(し)んでも文句(もんく)ねぇんだろうな


ひゅーー♫
黒さま素敵すぎー
放せ！くそーー!!
おれ達は子供達が消えたことには無関係です
って言ってもー信じられないかなぁ
当たり前だ！
子供達が見付かるまでおまえ達があやしいことに一番変わりはない！
探します
子供達が何故そして何処へ消えたのか
それに


おれの大事なひとも


スッ


この窓から出ちゃったのかなぁサクラちゃん
伝説みたいに金の髪の姫とやらにさらわれたのか‥
それとも子供達をつれていった誰かを見たか
小狼君は本当に三百年前の伝説のお姫様が
子供をさらったと思ってるのー？
まだどちらとも言えません
けどカイル先生に聞いたんですが
この国には『魔法』や『秘術』を使える人間は認知されていないようです
ここには魔力みたいなものを使える人間は公然とは存在していない？


この歴史書を見ていても三百年前のエメロード姫のこと以外それらしい不思議な現象も記されていません
もし本当にエメロード姫が何らかの方法で蘇って起こしている事件なら
この窓から視認できるくらいの距離に金の髪の姫が来てモコナが何も感じないというのは・・・
モコナこの世界に来てから何も感じない
寝てただろうおまえは!!
ぐーぐーと夜は俺の腹の上で!
凄く強い力だったら目が覚めるもん!
ムッキーッ
家の鍵も壊されてない子供達が騒いだ様子もない
それに不思議な力じゃないなら
サクラちゃんが見たっていうお姫様は?
びびびびび
・・・・・・・


本当にすみません町の人達が失礼を・・・
とんとん
いいえー　みんないなくなった子供達が心配なんでしょう
でもサクラさんもいなくなってしまって・・・
・・・診察ですか？
残った子供達の様子を見てこようと思って
キィ

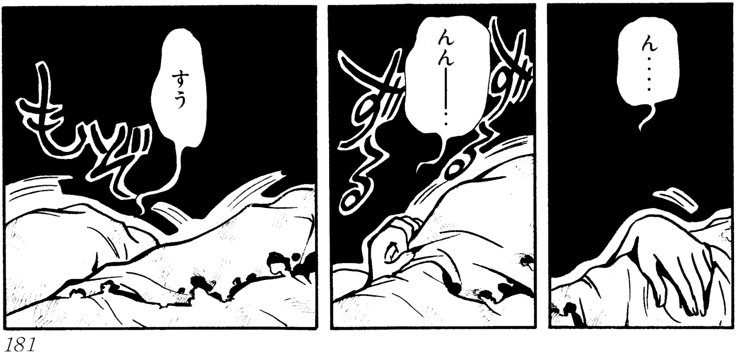

どこへ行く!
いなくなった子供達とオレの妹の手掛かりを探しにー
一緒に行くぞ!!
おまえ達だけで行動させたら何しでかすか分からないからな!
んー
ああ?
ずいっ
な・・・・なんだよ!
聞きたいことがあるんです


…ここ数年凶作だと町長に伺いました
ああ自分達が食うので精一杯だ！
この町の土地って殆どグロサムさんのものなんですってー？
借りた土地代はどうしてんだよ
…待ってもらってる！
カイル先生がグロサムさんに掛け合ってくれたんだ！
先生が言ってくれなかったら今頃・
俺達はこの町を出なきゃならなかったかもしれないんだ！

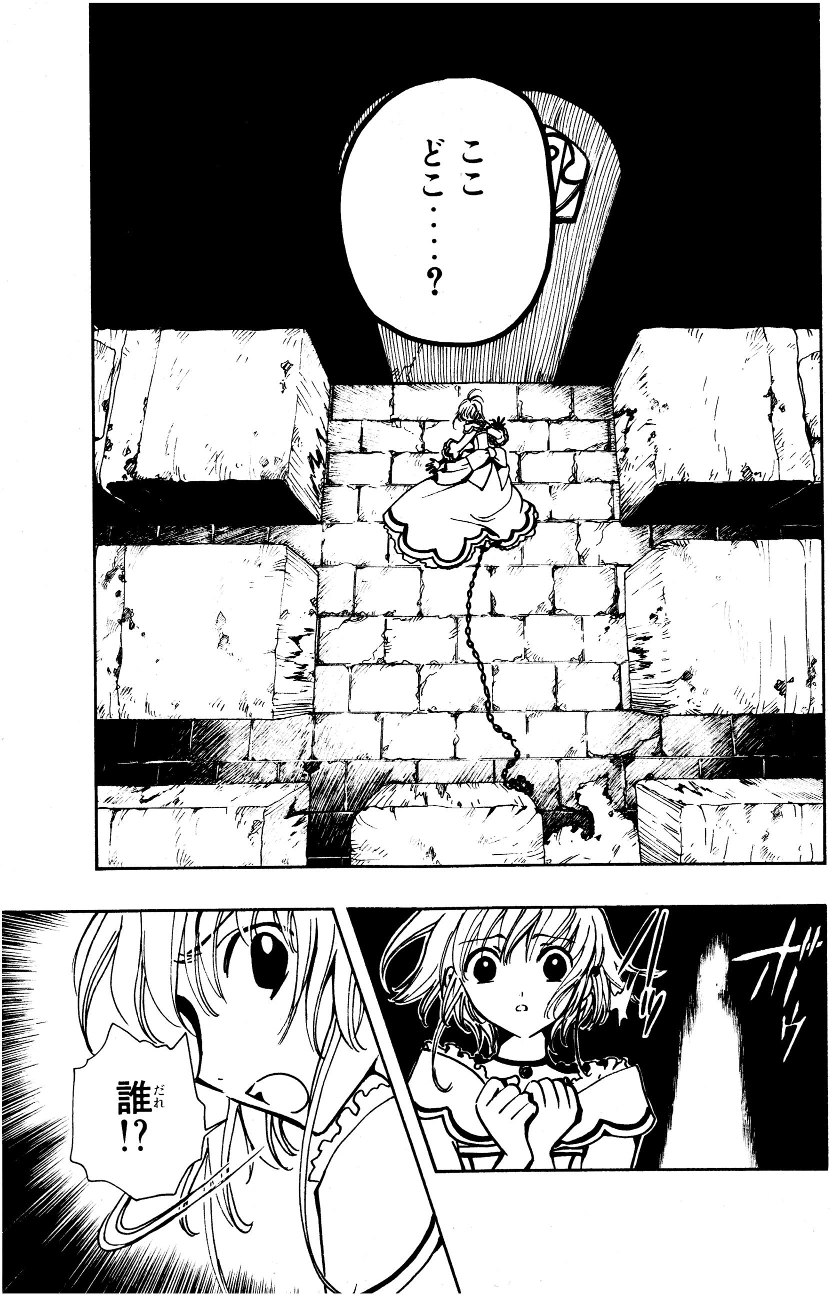

へー
ってことはグロサムさんはここ数年
あんまり収入的にイイ感じじゃないと――
……
おまえ達 馬を持ってただろう何で乗らないんだ!?
さく
さく
馬からだと見逃しちゃうでしょうー
だめだな
夜通し降った雪で足跡は消えてる


町の周辺は既に探されてますよね
当たり前だ!!
わ 声おっきー
ひくくっ
城のほうはどうですか?
城の手前までは探した!
けど あの川があるから向こうへは渡れないい!!
おまえらなんで こんなに冷静なんだ?
旅の仲間がいなくなったんだろ?
…少なくともあのガキに関してそう見えるんなら

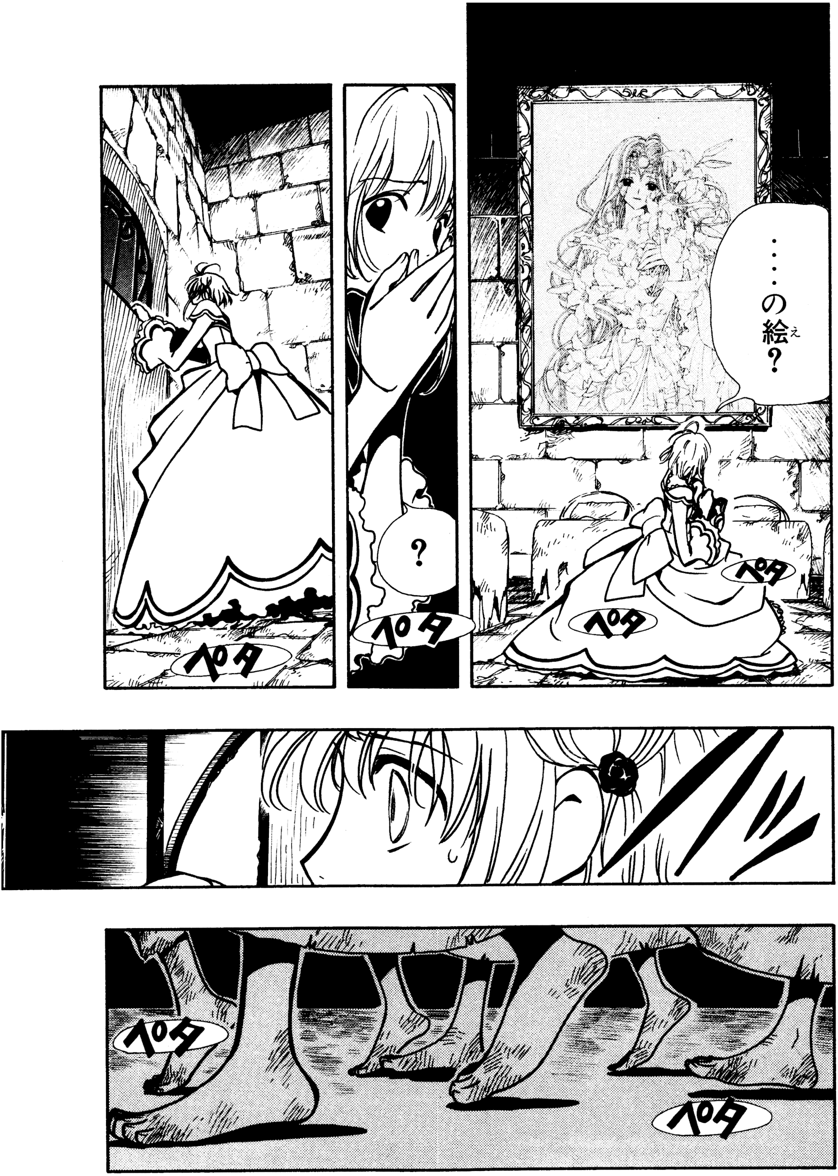

お前の目は節穴だな


ん……
ずるる
んん――…
すう
もぞ


はっ
子供達が!!
ガッ
べしゃっ
真っ暗
ジャラッ
鎖!?


ここどこ・・・・?
誰(だれ)!?


お姫様!?


……の絵？
ペタ
ペタ
？
ペタ
ペタ
ペタ
ペタ



To Be Continued

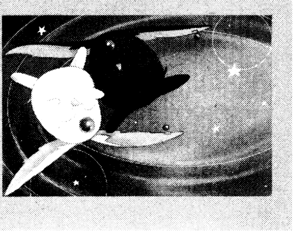
掲載／週刊少年マガジン2003年第49号から2004年第４・５合併号



『ツバサ』『×××HOLiC』に登場する二人のモコナ＝モドキのお話が、かわいい絵本になりました！

『ソエルとラーグ』
～モコナ＝モドキの冒険～

大人気発売中!!　定価：1980円（税込）



あなたは、この本を読んで、どのような感想をおもちになりましたか。
このほかに、「講談社コミックス」の中で、どんな本を読まれましたか。
このつぎには、どんな作家の、どんなまんがを読みたいとお考えですか。
コミックス編集の参考にさせていただきたいと思います。「読後の感想」と合わせて、左記のところあてにお知らせください。

東京都文京区音羽二丁目十二番二十一号
（郵便番号一一二-八〇〇一）
「講談社コミックス」編集部

N.D.C. 726　191p　18cm

講談社コミックス　三三三八巻

ツバサ ④

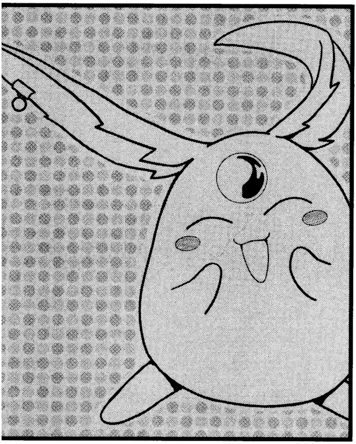
2004年2月17日　第1刷発行
2005年3月8日　第3刷発行
定価はカバーに表示してあります。

著者　CLAMP
発行者　五十嵐隆夫
発行所　株式会社　講談社
東京都文京区音羽二-一二-二一
（郵便番号一一二-八〇〇一）
編集部（０３）五三九五-三四五九
販売部（０３）五三九五-三六〇八
印刷所　図書印刷株式会社
製本所　図書印刷株式会社

落丁本・乱丁本は購入書店名を明記のうえ、小社雑誌業務部宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えします。電話（０３）五三九五-三六〇三
なお、この本についてのお問い合わせは、週刊少年マガジン編集部宛にお願いいたします。

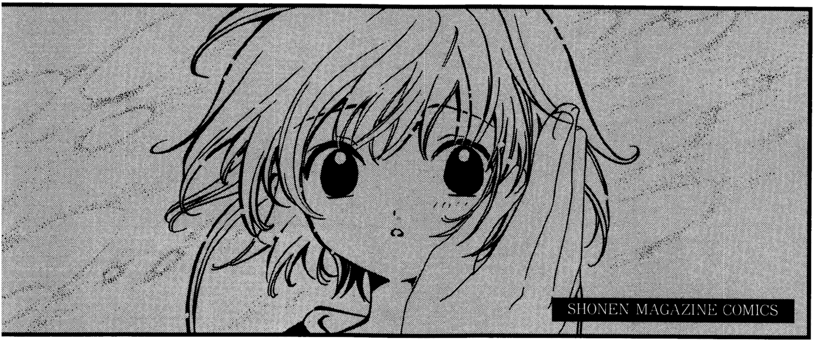
ISBN4-06-363338-1
Printed in Japan

微かに戻り始める少女の記憶!!



さくらの羽根をめぐっての小狼と領主の激闘は意外な形で結末を迎える！ 苦難の末に手に入れた羽根によってさくらは徐々に記憶を取り戻し始めるのだが‥。大波乱の「高麗国」編———ついに完結！

そして小狼達は次なる世界・「霧の国」へ！ 広大な湖で羽根を探す中、小狼の過去が明らかになっていく！



CLAMP

講談社